



参加無料

6.26 水

14:45～16:15

文学部講義棟127室

言語接触による言語変化の解明 —地理情報科学の方法を用いて—

講師

沈力 教授



同志社大学
言語生態科学研究センター長
言語の仕組みを解明する理論言語学のご専門で、地理情報科学と比較言語学の手法を用いた言語変化の研究をなされています。

概要

この研究では、中国山西省にある汾河流域の「入声語」の数の分布を調査し、中古漢語に存在していた「入声語」が徐々に減少していることを発見しました。しかし、この減少が中心方言の影響によるものなのか、各方言が独自に変化した結果なのかは疑問が残ります。

本研究では、「交流度」という指標を開発し、中心地域の人々と各方言地域の人々がどれくらい頻繁に接触しているかを測定しました。その結果、この地域における「入声語」の減少は、各方言が独自に変化した結果ではなく、中心方言の影響によるものであることが明らかになりました。

お気軽にご参加ください

- 対象：文学部・人文学研究科の学生，教員
- 参加費無料
- 事前申し込み：不要
- Zoomリンク，配布資料，配信動画（後日）など，QRコード/URLでご確認ください



連続ワークショップ：データに基づいた統計・機械学習モデルの基礎と応用（第2回）
（ハイブリッド開催・動画配信）

お問い合わせ先：人文知共創センター zheng@nagoya-u.jp <https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/aaa/>

